

社会が**変化**する **瞬間**

～ 1980 年、ワールド・コーヒーでの記憶

「連帯」と「光州事件」

〈経済学〉…といえば、今の学生たちならバブルと金融危機、あるいは、国際金融ビジネスや中国経済の躍進を想うのでしょう。株や為替レートの動きを予測し、さまざまなデリバティブを駆使して、投資で儲ける話を聞きたいのかもしれませんが。

1980 年の夏、ポーランドで自主管理労組・連帯 (*1) が世界の注目を集めた時、私は大学生でした。テレビでも新聞でもこのニュースが連日流され、私は大いに驚き、夢中になって読みました。下宿に帰っても暑い（あるいは寒い）だけですから、三日に一度は白川通りのワール

小野塚 佳光

Yoshimitsu Onozuka

【研究テーマ】

国際政治経済学



ドコーヒー (*2) に行って、そこにある新聞を、ポーランドのこの「事件」について、何でも読みました。そのころは今のようにインターネットでニュースを検索することもできず、多くの新聞を読むことができるのは図書館か喫茶店しかなかったわけです。

午後の休憩時間なのか、タクシーのドライバーたちが多くいて、お店の隅で長い時間新聞を広げていても誰も気にしませんでした。私は記事を読みながら、思いついたことを日記のように書き留めていました。そして、この事件が何を意味しているのか、その背景や私たちの生きる時代を想像しようと努めました。

1980年には、その前、5月に韓国で大きな事件がありました。前年、長期の軍事独裁体制を維持してきた朴^{パク}正^{ジョン}照^ヒ大統領が暗殺され、民主化運動が一気に加熱しました。クーデターで軍事体制の継承を図った全^{チェン}斗^ド燦^{ファン}は、ソウルや光州で繰り返される学生デモに危機感を強めたわけです。ついに光州で、戒厳令下、空挺部隊を投入して学生・市民を弾圧します。当時はその結果がどうなったのか、正確な報道も行われなかったのです。

*1【自主管理労組・連帯】1980年8月14日、ポーランド、グダニスクのレーニン造船所でストライキが起き、独立した労働組合・連帯の結成について政府の合意を得た。連帯はその後、弾圧されたが、1989年に復活し、東欧全体に広がる民主化にとって一つのモデルとなる。

*2【白川通りのワールド・コーヒー】京都市左京区北白川にある「ワールドコーヒーショップ白川本店」のこと。1961年開業。北白川一帯は昔から学生向けの下宿が多いエリア。



時代のうねりを誘発した2つの事件

いったんは武力制圧に失敗した軍隊が光州市を孤立させて、最終的に戦車で突入し、市民に100名を超える死者を出しました。その後、^{キムデジュン}金大中氏が国家反逆罪で死刑判決を受けたことに私は驚きました。「金大中氏を殺すな」という声をあげて、学生デモに参加し、河原町通りを歩いたことを思い出します。

他方、グダニスクから世界にその名を知られるようになったポーランドの自主管理労組・連帯は生き延びて、「革命」を成し遂げます。ソ連軍が介入するだろう、という話が何度も流れました。しかし、ポーランドはヤルゼルスキ将軍が首相となることによって危機を回避します。

2つの事件は、ある意味で、国際秩序の変化を象徴していました。1970年代、ドルを中心とした固定為替レートは放棄され、石油価格の高騰、インフレが起きました。アメリカや日本、西欧諸国の経済も、根本的な変化を余儀なくされたのです。その余波が、最初は国際的な借り入れで政治秩序を維持していたポーランドや韓国にも、大きな圧力を及ぼしていたと思います。1980年代の累積債務危機、1990年代の冷戦終結、グローバリゼーションと通貨危機には、その歴史的な起源として、これら2つの事件があったかもしれません。

経済学の合理性と非現実性とのほざまで

経済学は極めて合理的ですが、その分、非現実的（そして非歴史的）だと思います。ポーランドの革命や韓国の武力弾圧を決めたのは、経済学では説明できないような衝撃です。他方、さまざまな危機、予想外の変化、それに応じた傑物や怪物（？）、無数の俗物による右往左往の果てに、私たちの社会は変化してしまいます。非常に優れた経済学者たちは、当然ながら、それらのことをよく知っていました。

あれから36年が過ぎたとは！その後、私は国際政治経済学を調べるようになりました。

時間があれば読んでみたい本として、今もさまざまな小説と一緒に、机の隅にはティモシー・ガートン・アッシュ（*3）の本があります。ポーランドの連帯を扱った現代史です。社会が変化する瞬間をとらえたい、たとえ少しでも、深く理解したいと私は思うのです。そして喫茶店ではなく、毎朝、インターネットで世界の鼓動を聞いています。



*3 【ティモシー・ガートン・アッシュ】 Timothy Garton Ash (1955年～)。イギリスの歴史学者。専門はヨーロッパ現代史。